

咳止めの成分について

大丈夫！
すぐ良くなるから

①症状によって成分が違おう

この時期、注意していても風邪をひいてしまうことがあります。風邪はほとんどの場合ウイルスによって引き起こされます。そのウイルスを殺す薬はあまりないため、症状として出ている、熱や鼻水、咳・痰、関節の痛みなどをおさえる薬をのみ、症状をおさえることで体力を温存し、自分の体力(免疫力)でウイルスを退治します。

その症状の中の「咳を止める」薬には、

- 脳の咳中枢に働いて咳をしずめる成分
- 気管支を広げ咳をしずめ、痰を出やすくする成分
- 気道の分泌液を増やして、痰の粘度を下げ、痰を出やすくする成分
- アレルギーによる咳をしずめる成分
- のどを消毒して炎症をおさえる成分

このように色々な成分があります。

この中の「脳の咳中枢に働いて咳をしずめる成分」である「コデインリン酸塩水和物、ジヒドロコデインリン酸塩」(コデイン類)は、12歳未満のお子さんには使わないことにしましょう、と今年7月に厚生労働省が決めました。



分からないことは
なんでも聞いてください！



②12歳未満のお子様は注意！！

これは、アメリカでコデイン類を飲んだ人が、効きすぎによって呼吸が止まってしまう副作用が起こったためです。コデインが効きすぎる人は遺伝学的な理由によるもので、日本人には同様な報告は無く、あまり心配することはないのですが、念のため12歳未満のお子さんには、使わないことに決められました。現在は、市販薬や医療用医薬品の成分やパッケージ等を変更する経過措置の期間で、平成31年には「コデインリン酸塩水和物、ジヒドロコデインリン酸塩」は、12歳未満で禁忌となります。

このように、医薬品は新たな報告や発見等で、日進月歩です。薬の1日にのむ回数や、量が、前とは変わっている可能性もあります。のむ前、使う前に、薬に付いてくる説明文を必ず読みましょう。よくわからない場合は、購入したお店やお近くの薬剤師におたずねください。

薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会 検索